

【輸送の安全に関する目標及び当該目標の達成状況】

期	期間	目標	実績	
第1期	2013年7月～2013年11月	①人身事故0件	0件	達成
		②連続無事故日数150日以上	連続61日	未達成
第2期	2013年12月～2014年11月	①人身事故0件	0件	達成
		②10万キロにおける有責事故率0.12以下	0.29	未達成
		③連続無事故日数150日以上	162日	達成
第3期	2014年12月～2015年11月	①人身事故0件	0件	達成
		②有責事故5件以下	10件	未達成
		③連続無事故日数170日以上	86日	未達成
第4期	2015年12月～2016年11月	①人身事故0件	0件	達成
		②有責事故7件以下	7件	達成
		③うち後退事故2件以下	1件	達成
第5期	2016年12月～2017年11月	①人身事故0件	0件	達成
		②有責事故7件以下	16件	未達成
		③うち後退事故0件	8件	未達成
		④健康起因事故0件	0件	達成
第6期	2017年12月～2018年11月	①人身事故0件		
		②有責事故7件以下		
		③健康起因事故0件		
		④10万キロにおける有責事故率0.1以下		

【輸送の安全に関する計画】

第6期 『計画』

1. 社員（運転者、運行管理者、教育課）に対する輸送の安全に関する教育の実施

- ① 毎月、全体会議にて安全マネジメント進捗の共有
- ② 年4回、乗務員 座学・実技教育講習の実施及び理解度テスト
- ③ 適性診断の受講（毎年受講とする）
- ④ 1か月に1回以上、運輸課リーダー会議の実施
- ⑤ 運輸課によるDR確認と同乗指導
- ⑥ 運行管理者に健康管理の教育を毎月実施
- ⑦ 適性診断活用講座（外部講習）の受講実施
- ⑧ 年に4回、経営層・統括運管による全社員面談を実施（3月、6月、9月、12月）
- ⑨ 雪山走行実技講習の実施
- ⑩ 乗務員個人ごとの健康管理改善サポート（管理栄養士、産業医の連携）

2. ドライブレコーダーの活用

- ① 事故発生時にドライブレコーダーを活用した原因の深堀。再発防止策の展開。
- ② 毎週金曜日、乗務員を対象にヒヤリハット映像から危険予知能力を向上させる。
- ③ 乗務員を対象にDR映像から、バック基本動作、安全動作の確認を行う。
- ④ グループ会社で発生した事故事案をDRで疑似体験させ、安全意識の醸成をする。

3. 輸送の安全推進に係わる行事参加

- ① 事故対策機構の実施する講習
- ② 神奈川県無事故・無違反コンクール参加
- ③ バス協会主催の事故防止委員会の参加
- ④ 運輸安全マネジメントに関する外部講習の参加
- ⑤ 運輸安全マネジメント内部監査員講習の参加

4. 乗務員健康管理

- ① 入社後、睡眠時無呼吸症候群スクリーニング検査の受診
- ② BNP、CPK検査による心不全等のリスク把握
- ③ 入社後、脳ドック実施による健康状態把握
- ④ 点呼ごとに、血圧、体重、体脂肪率を計測しデータ化する
- ⑤ 活動量計を付与し、毎日の活動状態を可視化する

【輸送の安全に関する教育及び研修計画】

第6期 『計画』

- 健康管理データの運用
- 事故惹起者への教育訓練の見直し
- 緊急時対応訓練
- 年間教育計画の実施
- 適性診断活用講座の活用
- 運輸課DR確認と同乗指導
- 乗務員評価の見える化
- 雪山走行実技講習

安全に関する目標を達成するために、新しいものを積極的に取り入れる。
また、具体的な計画を着実に実施します。

【輸送の安全にかかわる行政処分に関する情報】

期	期間	行政処分の内容	当該処分に基づき講じた処置及び講じようとする処置の内容
第1期	2013年7月～2013年11月	なし	-
第2期	2013年12月～2014年11月	なし	-
第3期	2014年12月～2015年11月	なし	-
第4期	2015年12月～2016年11月	なし	-
第5期	2016年12月～2017年11月	なし	-